

弘 前 大 学

國 史 研 究

第 141 号

60 周年 記念

〔研究ノート〕		賜姓源氏の初叙位に関する一試論	江渡 俊裕	1
幕末の条約について		不染斎俊恕書状（根城八戸家宛）の年代比定	熊谷 隆次	23
青森飛行場（通称油川飛行場）の誘致をめぐる基礎的考察			工藤 大輔	39
〔書評と紹介〕				
関根達人著 『モノから見たアイヌ文化史』			塚越 俊志	58
樋口知志編 『東北の古代史5 前九年・後三年合戦と兵の時代』			越田賢一郎	71
高橋 充編 『東北の中世史5 東北近世の胎動』			伊藤 博幸	77
畠山 篤著 『岩木山の神と鬼』			滝尻 侑貴	95
〔博物館展示批評〕			小山 隆秀	99
弘前市立博物館リニユーアル常設展			瀧本 壽史	105

弘 前 大 学 國 史 研 究 会

2016・10

―彙報―

◎平成二十八年年度弘前大学国史研究会六十周年記念大会が、九月十七日、弘前市のホテルニューキャッスル本館三階、松の間において開催された。本大会は六十周年記念大会ということで、会員以外にも参加を呼びかけて公開講演会を行い、その後研究報告を行った。また、会場内では、会員の著書や自治体史等の販売も各出版社の協力を得て行われた。演題は以下の通りである。

【公開講演会】

「近世初期北奥史研究に関する二、三の知見―『青森県史 資料編 近世1』刊行後の新出史料の紹介を通じて―」

弘前大学名誉教授 長谷川成一氏

【研究報告】

「一世源氏の元服に関する一試論」

法政大学大学院人文科学研究科博士後期課程 江渡 俊裕氏

「二つの児玉家、岩槻藩と弘前藩の児玉家―児玉南柯と児玉武七について―」

弘前市立弘前図書館 福井 敏隆氏

「地域素材の研究成果を活用した高校日本史の授業開発―弘前藩の天明飢饉と民次郎一揆を事例として―」

弘前大学教育学部准教授 瀧本 壽史氏

その後、国史研究会総会が開催され、総会では、会務報告、会計監査

報告、会計報告、会則審議が行われた。会則については、弘前大学学部名の変更に伴う事務所名の変更（人文学部日本史研究室から人文社会科学部日本史研究室へ）、役員任期の変更（一年から二年へ）のほか、委員会、顧問の設置ないし任命規程の明確化、総会の議決要件の明確化（出席会員の過半数とする）が事務局から提案され、承認された。

ついで新役員の改選があり、新会長に副会長の小口雅史氏が選出され、他の役員任命については、会長一任が了承された。新副会長に関根達人氏、福井敏隆氏、新監事に藤田俊雄氏、新委員に石山晃子氏、工藤大輔氏、小石川透氏、鶴巻秀樹氏が任命された。それを受けて、委員の互選により、代表委員には武井紀子・瀧本壽史両委員が選任された。役員等は別表の通りである。

最後に、その他として、小口新会長から、顧問に長谷川成一前会長、名誉会員に篠村正雄前監事が指名され、永年にわたって本会の活動に貢献されてきたお二人に、本会を代表して謝意が述べられた。

このほか、小口新会長から会誌の編集に関わる内規制定について説明があった。それに基づき編集担当者会議が明文化され、福井敏隆氏、関根達人氏、武井紀子氏が編集主幹に委嘱された。

また本会七十周年記念大会に向けた取組（東北史学会弘前大会との連動）について、報告があった。

総会終了後、長谷川成一前会長に本会から花束が贈呈された。本会第四代会長として三十年以上にわたって本会を牽引してこられた長谷川成一氏に心から感謝するとともに、引き続き顧問としてご指導を願うものである。

（HT）

弘前大学国史研究会役員等名簿

(平成二十八年度～平成二十九年度)

○顧問	長谷川成一
○会長	小口雅史
○副会長	関根達人 福井敏隆
○代表委員	瀧本壽史 武井紀子
○委員	石山晃子 工藤大輔 小石川透 鶴巻秀樹 古川淳一
○監事	本田 伸 三浦忠司 竹内勇造 藤田俊雄

本会機関誌『弘前大学国史研究』への投稿について
投稿規定

◎論 文 四百字詰 60枚程度を原則とする(縦書き、以下同様)

◎研究ノート 四百字詰 20枚から30枚程度

◎研究余録 四百字詰 10枚程度

◎史料紹介 四百字詰 10枚から30枚程度

◎その他(書評・研究動向・歴史随想など) 四百字詰 10枚程度
◎ワープロでの執筆に際しては、一段に付き32字×23行で組んで下さい。字数は右の規定の範囲で計算して、それを越えないようにして下さい。

◎デジタルデータによる投稿も可能です(事前に編集委員会へ御相談下さい)。行数・字数は、ワープロ執筆と同様に組んで下さい。なお、プリントアウトした原稿を添付のこと。

◎横書きを希望する時は、あらかじめ本会へご相談下さい。

◎原稿締切 一月末日と八月末日の年2回

※投稿に際しては、図表を最小限におさえ、完成原稿をお願いします。また、原稿は必ず御手元でコピーをとって保存しておいて下さい。投稿は本会会員に限ります。

※掲載については、原稿を受領後、編集委員会で審査し、一ヶ月以内に御通知します。なお、文中に掲載許可を必要とする写真・図版等を含む場合には、掲載決定後、著者の責任において権利者から許可の承諾書を取得して下さい。

※掲載分の論文等については、抜刷50部をさしあげます。

※本誌掲載の論文等を転載する場合は、本会の諒承を得て下さい。

平成二十八年十月三十日

弘前大学 國史研究 第一四二号

036-8560 弘前市文京町一番地

弘前大学人文社会科学部日本史研究室内

編集者
発行者

弘前大学 國史研究会

振替口座 〇二三〇〇一六三四番